

常総市  
のじょうそう  
市議会だより

主な記事

一般質問(2月定例会議)…………… (2)~(12)  
審議された主な議案…………… (12)  
2月定例会議の審議案件と結果…………… (13)  
各種委員の推薦…………… (14)  
5月定例会議日程…………… (14)

●責任者 常総市議会議長 風野芳之  
●編集 議会だより編集委員会  
●発行 常総市議会

213号

2016.5.19  
発行

関東・東北豪雨災害復興祈念

千姫まつり



水海道小学校マーチングバンドパレード

# 一般質問

## 2月定例会議

3/13/4の4日間にわたり19人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨を掲載しています。  
※原則として平成の元号は省略しています。

<p><b>坂野 茂実</b> SAKANO SHIGEMI</p>  <p>●『青少年の家』について 昨年の水害で影響を受けなかった青少年の家。だが、老朽化が著しい。今後の利用方法はいかに？</p>	<p><b>大澤 清</b> OSAWA KIYOSHI</p>  <p>●今後の災害対策について 自主防災組織の結成率アップとその有効活用を!! 防災士の取得も促進すべきだ。</p>	<p><b>小林 剛</b> KOBAYASHI TAKESHI</p>  <p>●関東・東北豪雨関係について ①防災行政無線、Jアラートとの連動は? ②大規模避難所を西側に!!</p>	<p><b>岡野 一男</b> OKANO KAZUO</p>  <p>●保健センターの役割について 市民の健康を守るのが行政の努め。災害に強い地域に保健センター移転を!!</p>
<p><b>坂巻 文夫</b> SAKAMAKI FUMIO</p>  <p>●社会体育施設への「指定管理者制度」導入後の成果について 指定管理者ミズノの事業活動とその成果は？</p>	<p><b>石川 栄子</b> ISHIKAWA EIKO</p>  <p>●鬼怒川緊急対策プロジェクトの堤防整備の問題点について 越水してもすぐには決壊しない堤防を!!</p>	<p><b>中村 博美</b> NAKAMURA HIROMI</p>  <p>●豪雨水害について ①上三坂への避難指示発令ミスに対する補償は? ②根新田地区における自助共助の事例を挙げる。</p>	<p><b>寺田 洋</b> TERADA HIROSHI</p>  <p>●予算の執行及び各種支援制度の動向について ①集会施設整備に一定額の全額補助を!! ②義援金の配分を早急に!!</p>
<p><b>倉持 守</b> KURAMOCHI MAMORU</p>  <p>●都市計画と人口減少対策について 都市計画の変更、そして常総市の地形を生かした政策が必要だ!!</p>	<p><b>堀越 道男</b> HORIKOSHI MICHIO</p>  <p>●災害対策本部の体制について 災害のプロ“危機管理監”の設置にあたり、鳥取県の例に学ぶ。</p>	<p><b>金子 晃久</b> KANEKO TERUHISA</p>  <p>●豪雨水害後の対応と現在、今後の市政について ①市長は人として感謝の言葉を述べてもらいたい。②堤防改修の工法は？</p>	<p><b>中島 亨一</b> NAKAJIMA RYOICHI</p>  <p>●少子化対策の方向性について市長に問う 市長として常総市の未来をどう考えているのか。独自のビジョンを示せ!!</p>
<p><b>遠藤 正信</b> ENDO MASANOBU</p>  <p>●9.10水害による被災検証に基づく、今後のライフライン整備・計画について 相野谷浄水場の移転と地下空洞・埋設物の調査を!!</p>	<p><b>遠藤 章江</b> ENDO FUMIE</p>  <p>●アグリサイエンスバレー構想の進捗状況について 農地転用は難しい。構想予定地は特区にすべき!!</p>	<p><b>水野 昇</b> MIZUNO NOBORU</p>  <p>●鬼怒川決壊による大規模水害とアグリサイエンスバレー構想について 地権者の同意をもらってから進めるのが順序だ!!</p>	<p><b>中村 安雄</b> NAKAMURA YASUO</p>  <p>●児童クラブの運営について 児童クラブに指定管理者を導入した場合、その財源は? 有料化するのか!?</p>
<p><b>関 優嗣</b> SEKI MASASHI</p>  <p>●今後の災害に備えた対策、対応について 障がい者に配慮した福祉避難所の設置、“防災士”資格取得に対する助成を!!</p>	<p><b>新田 宏安</b> NITTA HIROYASU</p>  <p>●常総市の現状と今後の政策について 雇用創出だけでなく住宅政策も同時進行でやってもらいたい!!</p>	<p><b>茂田 信三</b> SHIGETA SHINZO</p>  <p>●水害検証委員会における市長発言について 市役所の職員とボランティアの方、どこが質が違うのか？</p>	

## 市民の健康を守るのは行政



保健センターの役割について



**保健福祉部長**  
後やってくるのか。  
今のところ戸別訪問の予定はない。

**議員**  
それはおかしい。市が積極的に被災された方々に行くというのが本来のあり姿ではないか。心の変調は時間がかかってあらわれてくる場合もある。

**市長**  
新年度予算で新たに戸別訪問、生活支援相談をするための専任者6名程度の配置を決めている。

**議員**  
保健センターは築35年で建物も老朽化し、駐車場も狭い。防災上、安全な地域に移転してはどうか。計画はあるのか。

**保健福祉部長**  
耐震診断の結果に問題はなく、施設の長寿命化を目的に防水改修工事を実施予定のため、現状では移転は考えていない。

**議員**  
災害から市民を守るのは行政の努めである。壊れたものを同じ場所に、前と同じようにやるということとは、今回の水害から何も学んではない。非常時の避難施設としても活用できるような形態の保健センターを安全な地域に設置していただきたい。



鬼怒川西側に  
大規模避難所になる複合施設を!!  
関東・東北豪雨関係について

**議員**  
関東・東北豪雨時、Jアラート※に連動した放送が防災無線から流れたか。

**市民生活部長**  
気象関係については、連動して流れる設定をしていないので流れていない。

**議員**  
防災無線を設置した時点で連動させなきゃいけない。安全安心課には徹底してやってもらいたい。次に、災害弔慰金のほか、亡くなられた方への補償はどうなっているか。

**市民生活部長**  
遺族に対して災害弔慰金500万円が支払われている。

**議員**  
前回の一般質問で、市長は判断ミスにより亡くなられた方への責任、謝罪、補償について認める答弁をしている。補償を弔慰金とすりかえるのはおかしい。

**市長**  
災害弔慰金は賠償的なものではない。また、今回の災害の原因、責任、違法性の所在が明らかにならないと賠償はできない。

かにならないと賠償はできない。

**議員**  
東海第二原発30キロ圏内からの避難、そして首都直下型地震の際の東京都内からの避難を見据えて、常総市内の土地を貸し出してはどうか。それを含めて安全な場所に大規模避難所をつくり、防災関係の対策室も置いて、今回の災害の資料館のようなものも含めた複合的な施設を提案したい。はつきり言って安全な地域は西しかない。

**市長**  
土地の貸し出しについては、大変おもしろい発想だとは思いますが、

**議員**  
敷地の提供とか大規模避難所をつくるとか、そこまでやらないと、今回お世話になった全国の皆さんに恩返しはできない。



県南総合防災センター

岡野

一男議員

小林剛議員

市民生活部長

現在、市内の自主防災組織は

復興に向けて全力で取り組んでいるところであるが、同時に私は大地震の対策も急務と認めている。行政、地域、そして市民一人一人の災害意識を高めることにより、大規模地震発生時には自助、共助、公助が一体となり、被害を最小限に抑えることができるのと同時に、早期の復旧復興にもつながるものと考えている。そこで、市内の自主防災組織の結成状況を伺いたい。

議員



自主防災は地域コミュニティから!!

今後の災害対策について



大澤 清 議員

86あり、毎年増加している。

議員

市内を100%カバーするには何組織が必要と想定されるか。

市民生活部長

市内には自治区が約200あるので、200くらい結成されるのがいいと思う。

議員

昨年の関東・東北豪雨水害時には、地域において高齢者、障がい者、病気の方を避難誘導することができただろうか。自主防災組織を有効に活用することで対処できたかもしれない。形式的な自主防災組織ではなく、一人一人が危機管理意識を持ち、組織の目的を明確にし、避難所運営管理や災害時要援護者を助けられる地域コミュニティ組織であればと考えている。阪神・淡路大震災では約15万人が生き埋めになり、そのうち11万5000人は自力で脱出したが、残りの約3万5000人のうち77%は近隣住民に救出されたとのことである。震災イコール避難だけではなく、救助活動を行う実践的な研修や訓練も必要である。防災士の取得なども促進していきたいと考えている。ご配慮をお願いしたい。

□ 殿 園 圃 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 園 圃



鬼怒川西部の防災拠点として!!

「青少年の家」について

坂野 茂実 議員

議員

現在、災害ごみの仮置き場となっている青少年の家は、あすなるの里と同様に避難所としても機能する、大変重要な公共施設であると考えている。現在、青少年の家はどのような状態か。

教育部長

建物の老朽化が激しいため、今後使用を続けるためには耐震診断や耐震補強等が必要になると思われる。

議員

建物の耐震性に問題があるとのことだが、なぜ耐震診断が行われなかったのか。あまり使われていなかったから診断をしなかったということか。

教育部長

診断後の利用方法を十分に検討してから耐震診断を行おうと考えていた。

議員

ぜひ耐震診断をして補修を進め、避難所等に活用できる施設に整備していただきたい。青少年の家は高台にあり、水害は問題ない。地震に対しても液状化

市長

の心配もない。地下水もそれなりの対応をすれば飲料水に使える。市民に二度と災害の苦勞をさせないでほしい。

議員

青少年の家のグラウンドの質は非常に良く、建物も木造校舎で貴重である。また、西地区は水害に強く地盤もいい。今回の水害からの反省ということを考えれば、新たにあの地域全体をしっかりと防災の拠点としても考えていく必要があると思っ

ている。当然耐震診断をやらなくてはならない。新たな位置付けもしなくてはならない。それは同時に進めていきたいと思う。



青少年の家



### 義援金の配分を早急に!!

予算の執行及び各種支援制度の動向について

議員

「孤独死の前には孤独生がある。孤独死をなくすには孤独生をなくせばいい。」と、ある講師の先生がおっしゃった。集会施設をつくることで、地域コミュニティも生まれ、孤独生をなくす一助にもなると思う。その意味からも集会施設を早めに整備するため、200万円くらいまでは全額補助できないか。

市長

地区公民館は地域の方の所有なので、私は3分の2の補助というのは行政としては妥当な線かとも考えている。

議員

次に、義援金の配分について伺う。

保健福祉部長

第1次配分として、4558件、総額3億6860万円の配分を行っている。

議員

現在、いくら残っているか。

社会福祉課長

約4億5756万円である。

議員

特に4月には入学式等がありお金がかかる。できれば今月いっぱいくらいに市の義援金だけでも配分してもらいたい。

社会福祉課長

早急に準備を進めたいと事務局では思っている。

議員

県からの義援金はどのようになっているか。

社会福祉課長

2次配分については、県も3月末には配分の検討に入ると聞いている。

議員

一緒にというのが望ましいが、常総市だけでも先行して早めに配分をして、県に対しても早くやってくれるように要望している。ただきたい。



問 答 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 答

### 認めたミスの謝罪と補償を確実に!!



豪雨水害について



議員

若宮戸はしっかりと消防団員や職員が張りついて越水前に避難が終わっていた。しかし、その下流部については、越水も予想されるというホットラインが入っていたのに、なぜ若宮戸と同じ手だてをしなかったのか。

市長

若宮戸はもともと堤防がない地区であり予測もできたが、ほかの地区についてはどこで切れるかはわからなかった。

議員

今回の災害時における各地区の自助共助の事例を報告する。根新田では区長の名前で災害対策本部が立ち上がり、「ただいま、おにぎりが届きました。」とか「ボランティアが必要な方は対策本部に来てください。」といったメールがどんどん来た。各住民が年間100円を負担して、区長から住民全員にメールが来るというものである。

市民生活部長

具体的にメールを使って情報発信したということまでは聞いていなかった。

議員

これはそんなにお金がかからないので、ぜひ参考にして取り入れていただけたらと思う。

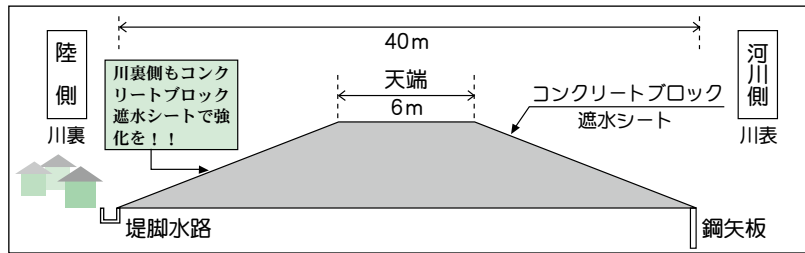
寺田 洋議員

中村 博美議員

## 決壊しない安心な堤防を!!



鬼怒川緊急対策プロジェクトの堤防整備の問題点について



堤防断面図

**議員**  
今回、国は「鬼怒川緊急プロジェクト」として、総事業費約580億円、6年をかけて堤防整備を行う。このプロジェクトでつくる堤防は、川表のり面をコンクリートブロックで覆って、遮水シートも張る。昨年と同じ水量には耐えられるというが、昨年よりも多い雨に見舞われて越水するとどうなるか。越水した水の圧力がのり面を掘って、

## 避難所での対応に感謝

社会体育施設への「指定管理者制度」導入後の成果について



**議員**

27年4月から社会体育施設への指定管理者を導入したが、昨年9月に発生した水害により、指定管理施設である水海道総合体育館、石下体育館ともに避難所となった。水害発生時から避難所解除までの間、指定管理者であるミズノグループにおいては、24時間体制で避難所業務を行ったと伺っている。非常にありがたいことである。業務がでない間、ミズノグループの事業活動はどうだったか。

**教育部長**

避難所運営の補助として人員を配置し、市職員の補佐として災害対応に従事していただいた。特に、災害発生時には、ずぶ濡れで避難してきた被災者に、施設内の物販商品である衣服や靴を即時に提供していただいたことには感謝をしている。避難所閉鎖後の12月には、市内中学・高校野球部を対象に野球道具のメンテナンスボランティアを実施していただいた。さらに現在、復興応援プロジェクトとして、



※キッズヘキサスロン…運動が苦手な子どもでも走る、跳ぶ、投げるなど基本的な動作を自然と身につけられる運動遊びメニューと運動能力測定を組み合わせたプログラム。

**議員**

**スポーツ振興課長**

小学校単位でやっているのか。被災した川東地区の小学校、川西地区で豊岡小・岡田小で実施している。非常に好評で、今後も体育の授業に組み込みたいという要望もある。

**議員**

西のほうもぜひこういう子どもたちが喜ぶような、体力づくりができるようなキッズヘキサスロンを実施してもらいたい。



## 市長、独自のビジョンはありますか？

少子化対策の方向性について市長に問う

議員

少子化が何を意味するのか。簡単に言えば、人口がどんどん減って、何も機能できなくなると、最終的には自治体が消滅する。近隣のつくば市、守谷市、つくばみらい市は人口がふえているが、常総市の人口は、前回の国勢調査から比べて約5千数百人減っている。少子化対策の方向性、常総市の未来を市長はどう考えているのか。

市長

少子化政策として、産業振興による働く場所の創出と住居の確保、すくすく医療費の高校3年生までの拡大、市内全小学校の空調整備、土曜日補習教室等がある。加えて、放課後児童クラブに対して、指定管理者制度を導入するという方向性を考えている。

議員

児童クラブは、若い親たちを応援していこう、少子化を食い止めるということをやってきたそれを、ほかの自治体が有料化しているから、うちもそうした

い。これでは人口が減る一方の当市にとっては何ら少子化対策にはならない。有料化なんていう話はやめていただきたい。

市長

指定管理者制度の導入イコール有料化という形ではない。

議員

政策というのは、自分の頭で考えて、自分でやってください。ほつとサタデーにしても私があるに言った政策でしょう。医療費の無料化は以前からやっている。独自の施策はないのか。

市長

すくすく医療費の高校3年生までの拡大は、独自の政策だと思ふ。将来、ビジョンとしては、男女共同参画社会を実現することによって、少子化を食い止めた北欧型社会を目指すべきだと考えている。



□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI □ 殿 質 問

## ひとりの人として 感謝を伝える



豪雨水害後の対応と現在、今後の市政について



員、各市長から常総市に対するお悔やみの言葉があったが、常総市長は出席していなかった。お世話になっていながら、感謝を伝えようという気持ちはないのか。政治家としてではなく、人として感謝の言葉を述べ続けることが本当に必要なのである。

市長

御礼の気持ちはもちろんあるが、特定の政党の大会にはすべ

議員

全国どこでも行って御礼を述べていただきたい。政党とか関係なく、人としてお願いしたい。それができるのはトップだけなんです。次に、堤防のパイピングの危険性について伺う。堤防のパイピングの箇所は、どのような工法で改修するのか。

安全安心課長

川ののり尻のところは鋼矢板を打ち込んで水を遮断し、のり面は遮水シート等を張って、漏水を防ぐと聞いている。

議員

今年の出水期までに板をはめるとのことだが、遮水シート等の工事はその後になるそうである。市民の不安がないよう、ぜひ市民からの要望を国交省に伝えていただきたい。

中島 亨一 議員

金子 晃久 議員

## 危機管理監への大きな期待



災害対策本部の体制について

安全安心課

防災・危機管理室  
(危機管理監)

**議員**  
避難指示を出すのは全権を握っている市長だが、非常に酷な立場である。地震は起こってから避難指示を出すのが、水害は事前に発生する。現場での想像力ということになるが、情報は国が握っている。市長にもホットラインで入るが、今まで経験したことがないので、非常にもたもたする。三坂については後手後手に回った。地域に専門監がいなから、国が言っていることも受けられない。国と一緒に情報を的確に捉えられるプロ

堀越 道男 議員

がいなければだめである。片山善博さんが鳥取県知事になって、真つ先にやったのは防災監を選ぶということだった。知事と同じ権限をもたせるから何でもやれということに任せられた。その1年半後に鳥取地震が起きた。また、彼はマニュアルなしで訓練をやらせた。マニュアルがなくても動ける体制をつくらうと。今回、常総市で危機管理監という災害のプロを雇うということだが、どんなことをやるうとしているのか。

市民生活部長

防災に関する様々な知識を持ち、災害対応に長けた防災顧問のような外部の専門家を危機管理監として採用する市町村が増えてきている。当市としても災害時における組織対応管理ができる専門家が重要であると認識し、28年度より配置するよう検討している。危機管理監が設置されれば、危機管理監に防災関係の一切を集中させ、防災訓練、防災備蓄、地域防災計画の見直しなど、危機管理監を中心に行っていくたいと考えている。

議員

全国の大きな例になるようなことをやってください。災害は突然来るのだから。

□ 図 質 問 JOSOSHIGIKAYORIJOSOSHIGIKAYORIJOSOSHIGIKAYORIJOSOSHIGIKAYORI □ 図 質 問



## 川西にコンパクトシティを!!

都市計画と人口減少対策について

議員

各自自治体が地方創生政策を練って人口減少に歯止めをかけたよと必死で取り組んでいる中、我が常総市は昨年9月に大水害に襲われ、人口が流出し、復興を主とした創生案が進められている。人口減少対策には、中でも都市計画の見直しが必要であると考えている。

都市建設部長

内守谷・坂手工業団地については地区計画を定め、新たな産業用地の創出を図っている。今後、花島工業団地についても地区計画の策定作業を進めてまいりたいと考えている。圏央道常総インターチェンジ周辺についても、アグリサイエンスバレー構想の中で企業誘致エリアを市街化区域に編入するための協議を進めている。住居系の土地利用については区域指定の制度を活用して進めていくことになると考えているが、制度決定から既に10年以上経過しており、状況の変化に応じた見直しを検討してまいりたいと考えている。

倉持 守 議員

議員

常総市は川を挟んで東側は低く、西側は丘陵で高い。地形を生かしたこれからの常総市の政策が必要かと感じている。西側の丘陵地帯に都市計画の変更をして、できればコンパクトシティも必要かと思う。工業地域の見直しと同様に地区計画の中で西側に指定区域を早急につくってはいかがか。

企画部長

復興計画の答申書の中でも土地利用計画の見直しという内容も出ていますので、検討してまいりたいと考えています。

議員

常総市も復興と地方創生をあわせてもっとスピード感をもってやっていただきたい。







**指定管理後も負担なしで  
児童クラブの運営について**

**議員**

27年度から児童クラブの利用を小6まで拡大したことにより、慢性的な指導員の不足を生じており、29年4月から児童クラブの運営に指定管理者制度を導入したいということであるが、現在の児童利用者数は。

**保健福祉部長**

現在、登録児童数は1048人、全児童数の約30%である。

**議員**

春休み、夏休みの運営時間は。

**こども課長**

朝8時から夕方6時半までである。

**議員**

長時間子どもたちを預けることができるということは保護者としては大変助かる。しかし、絹西小などでも指導者が不足していると思うが。

**保健福祉部長**

指定管理者制度を導入することで、専門知識を持った指導員を常時配置し、各児童クラブに主任者を置く体制ができる。

**議員**

その財源と近隣市町の状況は。

**保健福祉部長**

今年度の事業費約7200万円から増加して、約1億円となる見込みである。近隣市町では事業者が委託しており、利用料を有料とし、財源に充てている。

**議員**

管理者制度にして一部負担があるとしても、負担できない家庭もあると思う。

**市長**

有料か無料かについては、実施まで1年あるので、議論してゆつくりと合意が得られるように決めていきたい。

**議員**

やはり保護者は負担がないほうがいい。そこをよく理解しながら予算化してもらいたい。



□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

**地権者の同意がなければ  
始まらない**



鬼怒川決壊による大規模水害とアグリサイエンスプレー構想について



圏央道常総インターチェンジ周辺

**議員**

私はこの構想に反対ではないが、ハードルが高く、難しい事業だと言っている。万一というときはだれが責任を負うのか。

**市長**

スタートする前に失敗したらどうするかという議論そのものがおかしいと思う。

**議員**

測量についても地権者の同意をとってからやってくださいと申し込んでおいたが、それを振り切って今測量に入っている。2億数千万の測量費が予算に入っているが、専門家に聞いたら

1億2000万でできるという。今回の測量は個人の土地に立ち入るものではない点をご理解願いたい。また、測量費の見積もりは、国交省の積算基準に沿ったものであり、前提条件が同じであれば他業者が見積もりをしても同額になるものと考えている。

**産業拠点整備課参事兼理事**

**議員**

私は第一に地権者の同意をもらえていないことが不安なのである。一般社会では承諾書なり契約書をもらわなければ決まらない。同意をもらってから進めるのが順序だろう。少数意見だからと切り捨て、どんどん進めるといふのはいかがなものか。

**市長**

当然地権者の同意がなければできないのは事実であるから、そこに力を置いて現在事業を進めている。

**議員**

いつまでに同意を取りつけるのか。

**産業拠点整備課参事兼理事**

いつまでという形で今お答えはできない。白畑地区の反対していた方から、条件付きで賛同するという要望書をいただいているので、そちらを精査しながら進めてまいりたい。

中村 安雄 議員

水野 昇 議員



遠藤 章江 議員

やっぱり特区でしょ!!

アグリサイエンスバレー構想の進捗状況について

議員

水害後の開発予定地の現状を踏まえ、計画変更の必要性、可能性について問う。

都市建設部長

都市的土地利用エリアの市街化区域編入の都市計画決定手続きは29年度になることが予想される。それに伴い、農地的土地利用エリアで行う事業についても遅延が生じることになると思われる。

議員

本来であれば、農政協議を含む今年3月の都市計画の定期見直しによって市街化編入を行う予定であったが、随分遅れている。この事業が難しい理由は、開発予定地が優良農地であり、農業振興地域の整備に関する法律でがっちり縛りを受けた地域だからである。予定地が今回の水害で被害を受けたにも関わらず、構想を進めることに私は非常に不安を持っている。次に、開発に当たって盛土が必要ということだが、田んぼに盛土をすることにによって遊水池が失われ



る可能性がある。田んぼは洪水時に非常に有効な遊水池である。この構想を今後進めていくに当たっての市長の見解を問う。

市長

新たな位置付けとして、復興計画の中心に、インター開発構想を進めていきたい。

議員

アグリサイエンスバレー構想の土地には、土地改良事業等の国庫予算が入っている。農地を転用するためには、補助事業による土地改良事業等の完了後8年を経過していることという法律の定めがあるが。

産業労働部長

災害復旧事業は、農振法上の土地改良事業には該当せず、構想予定地の農地復旧に国費は入っていない。

議員

市長がやるべきことは、あらゆる人脈や手段を使って、この地域を特区にしてみらうこと、これに尽きると私は思っている。



遠藤 正信 議員

保全是事後ではなく予防で!!

9・10水害による被災検証に基づく、今後のライフライン整備・計画について

議員

昨年9月10日の水害により、相野谷浄水場は浸水をし、1万1800世帯が断水を余儀なくされた。ライフラインという命に関わるような施設について、今後の整備と計画を問う。

都市建設部長

相野谷浄水場の配水ポンプ4台中2台を水中型配水ポンプに転換し、非常用自家発電機を施設内の高所へ移設することを考えている。

議員

将来的には高いところに浄水場を、と考えるのが普通だと思うが。

都市建設部長

移転については、場所と経費の問題を考えると非常に難しい。

議員

一番困るのは市民である。リスクを少なくしていくというのが考えの基本であっていいと思う。次にインフラの総点検と老朽化対策について問う。今回の水害で数日間道路が冠水していた地域もある。道路の地下には

都市建設部長

道路の地下の空洞や埋設物の調査等について今後検討していきたいと考えている。

議員

事後保全型ではなく予防保全型※に考えを変えていかないと、なってしまう。市民の安全を守ることも市の役割であり、市が主導して管理するのは当然のことである。特に心配なのは下水道である。長時間冠水していた場所などは、よく目視なり注意をしながらやっていたきたい。さらにそういう危険箇所を見出しながら、国の交付金も活用して、市民の安全な生活を堅持していったきたい。



相野谷浄水場

※予防保全…定期的な点検で早期に損傷を発見し、事故に至る前に補修すること。



## 労働の質とは？

水害検証委員会における市長発言について

**議員**

水害検証委員会で、私は「市職員の水害時の残業代が140万というのはあり得ない。1日幾らという形にしないからだ。善後策を考える。」と言ったら、市長は「一般職員とボランティアは質が違う。」と言った。ボランティアの方が聞いたら、どう思うか。仕事中にたばこを吸っている市職員と遠方から寝ずに来たボランティアの方、どちらが労働の質がいいのか。

**市長**

職員は、指揮命令権に基づいて働かされているという形で、労基法における労働の概念に入る。ボランティアは、行くこと自体自分で選択でき、その中で自由に休むこともできる。指揮命令権は一切ない。厳密に言えば労働という概念に当たらない。その違いを言ったわけである。

**議員**

職員は拘束時間が決まっているのに、なぜ仕事中にたばこを吸うのか。まず庁舎内に喫煙室があること自体がおかしい。ポ

ランティアの方にも指揮官がいる。好き勝手やっていると思うか。また、働かされているという表現がおかしい。公務員はみんなのために自主的に働くのだろう。

**市長**

常総市であれば私が指揮命令権を発しているわけで、労働者の側から見れば、働かされているという受け取りになると思う。

**議員**

では、勤務中にたばこを吸えと指揮命令で出しているのか。

**市長**

執務時間中にたばこを吸うのは許される行為ではない。私は嚴重注意をした。

**議員**

水害当初、ボランティアの方がたくさん来たが、指揮系統ができてないから帰ってしまった。常総市にはもうボランティアに行きたくないと言っている。ボランティアの方は本当に困った被災者を助けたいという一念で頑張ってくれたのではないのか。

□ 般 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 般 質 問

## 住んで働ける常総市に!!



常総市の現状と今後の政策について



雇用の場だけではなく、そこで働いている人たちが常総市内に定住してもらえないような住宅政策もやっつけていかななくてはと思っています。きぬの里にはまだ住める余地があるので、そういう可能性があるとところをしっかりと埋めていきたいと思う。線引きについては見直すことが難しく、違う手法で住宅地の開発ができないか懸命に考えている。

**議員**

地域共同のあり方について、地域の活動で班長さんがチラシを配ったりしているが、高齢化が進み、「お断りしたいんだけど…」という方もいる。これからはますます深刻になっていくと思う。市としてもいろいろ対策を練っていただきたい。

**市民生活部長**

行政と地域コミュニティーが長所を発揮し合い、社会を支えていく仕組みの構築について検討していきたい。

**議員**

地域の助け合いで、簡単なことは地域でやるというのも一つの地域共同のあり方だと思う。一杯のお茶より、一杯のお酒で親交が深まり、地域の失われつつある部分を取り戻せるのではないかと思う。

**市長**

工業団地はつくったけれども、その人たちが住む場所の整備が遅れてしまったと反省している。

**議員**

圏央道周辺開発では、1000人からの雇用を見込んでいるという中で、きぬの里のような整然とした住宅政策も同時進行でやってもらいたい。雇用の確保だけではなく、常総市に来てくれた企業や従業員さんに住んでいただけるような政策も少子化・人口減少対策として有効だと思う。

茂田 信二 議員

新田 宏安 議員

## まさかへの備えとして



今後の災害に備えた対策、対応について



関  
優  
嗣  
議  
員

かじめ特別支援学校と協定をす  
るとか、障がいの種類によつて  
受け入れ場所をきちつと事前に  
選定しておかないと対応は難し  
いと考えている。

議員

今後、協議を進めて福祉避難  
所の設定をしていただきたい。  
災害の規模が大きければ大きい  
ほど、行政の対応は遅れてしま  
う。発災後、数日は自助共助に  
頼らざるを得ないと思うが。

市民生活部長

今後、防災士の組織を立ち上  
げ、市及び地域の防災力の強化  
を図っていきたい。

議員

取手市では、防災士検定に対  
して、経費の3分の2、上限6  
万9000円を助成するそうで  
ある。地域のリーダーシップを  
発揮して、知識を持って統括し  
てくれる人がいる組織が形成さ  
れば、大変心強いことではな  
いか。

市民生活部長

そのような方向で考えたい。

議員

私も防災士検定に挑戦してい  
きたいと思う。

市長

十分な対応はできなかつたと  
言わざるを得ない。今後はあら

た避難所はあったか。

議員

※福祉避難所：災害発生時に高齢者・障  
がい者・妊産婦など特別な配慮を必要  
とする人を受け入れる避難所。

## 審 議 結 果

平成28年2月定例会議

平成28年常総市議会（2月定例  
会議）が、2月24日から3月16日  
までの22日間の会期で開かれまし  
た。

今定例会議には、平成27年度一  
般会計補正予算、平成28年度一般  
会計及び特別会計予算を含む議案  
28件を市長が提案。初日の本会議  
で提案理由の説明があり、後日追  
加議案1件が提出され、議案等は  
各常任委員会及び予算特別委員会  
に付託され、各委員会（分科会）  
において詳細に審議がなされまし  
た。

最終日には、市長から議案1件、  
議員提案による議案1件が提出さ  
れ、採決の結果、議案31件、人事  
案件2件が原案のとおり可決・選  
任・推薦されました。また、請願  
1件が不採択となりました。陳情  
3件のうち、1件が採択、2件が  
趣旨採択となりました。

審議された主な議案は次のとお  
りです。

議案第58号

常総市一般職の任期付き職員  
の採用及び給与の特例に関す  
る条例について

本案は、地方公共団体の一般職  
の任期付き職員の採用に関する法  
律に基づき、高度の専門的な知識  
経験又は優れた識見を有する職員  
を選考により任期を定めて採用す  
ることとし、その採用及び任期並  
びに給与の特例に関して必要な事  
項を定めるものです。具体的には、  
昨年の関東・東北豪雨災害の経験  
を踏まえ、危機管理監・広報監を  
設置するに当たり、相応の人材を  
採用するために必要な条例を定め  
るものです。

議案第88号

議会改革特別委員会の設置に  
ついて

常総市議会として、これまでの  
議会改革の取り組みと関東・東北  
豪雨の被害による常総市の財政を  
踏まえ、市民とともに議会と議員  
の果たすべき役割について考える  
上で、議会活動・議員定数等及び  
経費の検証を行うため、特別委員  
会を設置するものです。設置期間  
は目的が達成するまでの相当期間  
で、委員定数は8名です。委員名  
については裏表紙をご覧ください。



# 平成28年 2月定例会議 審議案件と結果

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	議案名	関	大	坂	寺	金	堀	遠	小	新	倉	坂	中	岡	遠	中	茂	喜	石	水	中	堀	風	審議結果
		優	澤	野	田	子	越	藤	林	田	持	卷	村	野	藤	島	田	見	川	野	村	越	野	議
		副	清	美	洋	晃	輝	章	剛	宏	守	文	博	一	正	亨	信	山	栄	昇	安	道	芳	議
議案第58号	常総市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第59号	常総市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第60号	常総市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第61号	常総市教育委員会教育長の期末手当の特例に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第62号	証人等その他の者に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第63号	常総市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第64号	常総市災害甲慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第65号	常総市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第66号	常総市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第67号	常総市障害児就学指導委員会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第68号	常総市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第69号	市道の路線の廃止について（3865号線）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第70号	市道の路線の認定について（3993号線）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第71号	市道の路線の変更について（3861号線）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第72号	平成27年度常総市一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第73号	平成27年度常総市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第74号	平成27年度常総市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第75号	平成27年度常総市大生郷特定公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第76号	平成27年度常総市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第77号	平成28年度常総市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第78号	平成28年度常総市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第79号	平成28年度常総市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第80号	平成28年度常総市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第81号	平成28年度常総市介護サービス事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第82号	平成28年度常総市公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第83号	平成28年度常総市大生郷特定公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第84号	平成28年度常総市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第85号	平成28年度常総市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第86号	常総市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第87号	平成27年度常総市一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第88号	議会改革特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
選任第6号	議会改革特別委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選任
推薦第6号	常総市各種委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦
陳情第4号	公契約条例制定を求める陳情書	棄	棄	○	○	棄	棄	○	○	○	○	棄	○	棄	棄	棄	棄	棄	○	○	○	○	採択	
陳情第5号	別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備に関する陳情	○	○	棄	棄	○	○	○	○	○	○	棄	○	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
陳情第6号	別居・離婚後の親子の断絶を防止する公的支援を求める陳情	○	○	棄	棄	○	○	○	○	○	○	棄	○	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
請願第6号	「若宮戸地区メガソーラーの再設置について」撤去と謝罪を求める常総市議会への請願	×	棄	×	×	×	×	棄	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	不採択
報告第24号	関東・東北豪雨による水害復興特別委員会中間報告について	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	報告

※議長は採決に加わらない

《会議の欠席等の状況》3/1 本会議 喜見山明(欠席) 3/2 本会議 大澤清(離席) 倉持守(早退) 3/3 本会議 坂巻文夫(離席)

## 各種委員の推薦

子ども・子育て会議委員  
金子晃久

青少年問題協議会委員

岡野一男・坂野茂実・大澤 清

社会教育委員兼公民館運営審議会委員

新田宏安・倉持 守

教育支援委員会委員

(障害児就学指導委員会委員)

堀越輝子

学校給食センター運営委員会委員

遠藤正信・堀越輝子・中村安雄

## 特別委員会委員の選任

議会改革特別委員会委員

委員長 中村安雄

副委員長 堀越道男

委員 坂野茂実・小林 剛

中村博美・関 優嗣

坂巻文夫・茂田信三

## 普通救命講習(4月21日)



心肺蘇生法、止血法、AEDの使用方法等について実習を交えながら講習を受けました。

## インターネット映像配信中!!

本会議の生中継(LIVE)をインターネットでご覧いただけます。生中継を見られない場合でも、録画映像(VOD)をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

詳しくは映像配信ページをご覧ください。

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp/>

スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。



### 【アクセス方法】

市ホームページ  
↓  
市 議 会  
↓  
議会映像配信



## 議長のひとこと

平成28年度予算も可決され、上三坂地先の堤防も完成間近となり、若宮戸の無堤地帯も皆様のご協力のもと築堤工事が始まりました。心配されていた田植えもできました。



安心して住めるまちづくりに執行部と議会が一丸となり、復旧復興に全力で向かう所存です。

常総市議会議長 風野芳之

## 5月定例会議日程(予定)

5月25日(水)	第1回会議(本会議)
5月31日(火)	第2回会議(一般質問)
6月1日(水)	第3回会議(一般質問)
6月2日(木)	第4回会議(一般質問)
6月3日(金)	第5回会議(一般質問)
6月6日(月)	予算特別委員会
6月7日(火)	常任委員会(分科会)
6月8日(水)	常任委員会(分科会)
6月10日(金)	第6回会議(本会議)

※正式な日程は5月下旬に開催される議会運営委員会にて決定されます。

## 編集後記

新緑の青葉が繁れる季節。枝の若葉とは対照的に、木々の幹にふと目を走らすと、人の腰の高さほどまでが、灰色の泥で汚れている。幾度の雨が降ろうとも、泥は落ちることなく水害の凄まじさを語り続けている。まるで、常総市民の心の傷が未だに癒えぬことを訴えるかのように。

水害から八ヶ月、被災者の心の痛みに共感し、早期の復旧を目指し議員全員で力を尽くすことを再び誓う。

遠藤 章江

## 議会だより編集委員会

委員長 中村 博美  
副委員長 遠藤 章江  
委員 関 優嗣  
坂野 茂実  
寺田 洋

### 訂正

議会だより212号20ページ、遠藤章江議員の記事の中で誤りがありました。以下のとおり、訂正してお詫びいたします。  
誤「薬剤師協会」  
正「薬剤師会」